

# 中学校第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成 24 年 9 月 25 日 (火)  
指導者 教育センター所員 久保 寛美

1 主題名 「目標に向かう強い意志」 内容項目 1 - (2)

2 資料名 「柳川春己の挑戦」 (自作資料)

3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

人間は、本来、人間としてよりよく生きたいという願いをもっている。夢や目標をもち、それに向かって努力し続けることは人間としてよりよく生きるために大切なことである。子どもたちが抱く将来の夢は、長い期間を掛けて達成させる大きな目標であり、学校生活や身近な生活の中には、日々の達成を目指すような小さな目標もある。小さな目標であっても、一つずつ達成することを積み重ねていくことで、自信につながり、大きな目標に近づく力を生み出すことができると考える。

よって、夢や目標を達成するまでには、困難や挫折に遭遇することも考えられるが、強い意志や忍耐によって乗り越えようとする自分をつくることの素晴らしさについて考えさせることは意義あることだと考える。

○生徒の実態について

中学生の時期は、人間の生き方への関心が大きくなり、自分の人生をよりよく生きたいという内からの願いが強くなってくる。しかし、よりよく生きたいという願いをもちつつも、困難に直面したり、失敗を経験したりすると簡単に挫折し、夢や目標を見失ってしまうことが少なくない。

事前アンケートでは「将来の夢や就きたい職業は何ですか」の質問に、具体的に職業名や分野を答えた生徒が36名中25名(約69%)だった。しかし、平成23年度佐賀県小・中学校学習状況調査の児童生徒の意識調査によると、将来の夢や目標をもっている生徒の割合は学年が上がるにつれて少なくなる傾向が見られる。これからの中学校生活の中で、夢や目標をもち続けることの素晴らしさと、その達成のための、強い意志と最後までやり抜くことの大切さに気付かせたい。

○資料について

本資料は佐賀市在住の盲目アスリートで、1996年のアトランタパラリンピックで金メダルを獲得した柳川春己さんの生き方を写真や映像でまとめ自作したものである。柳川さんが大きな目標を達成させるまでに、小さな目標をもち、こつこつと前向きに挑戦していく姿や、目標を達成できない挫折を味わった経験やそこから立ち直る姿は感動的で、生徒の心に強く訴えてくる。夢や目標をもつことの大切さとその達成のためには、強い意志と最後までやり抜こうとする態度が必要であることを気付かせることができる資料であると考えられる。

挫折した時の気持ちやそれを乗り越えた理由を考えることを通して、柳川さんの思いと生きる姿勢に自分たちの思いを重ねながら、生徒一人一人の気持ちを交流させていきたい。

○指導について

本時の導入では、自分の将来について想像し、4月に実施したアンケートを紹介することで夢に対する意識付けとしたい。資料を説明する際は、前回行ったブラインドウォーク体験を思い出させながら、主人公への共感を図りたい。写真と映像を提示しながら教師の補助説明を行い、大きな目標を達成できなかった時のそれまでの努力に焦点を当てて考えさせることで、ねらいとする価値を理解させたい。その後の行動を、自分の考えを基に意見交流をしたり、補助発問で生徒自身の思いを問うたりすることで、自分との関わりで価値を捉えさせる。終末では、自分なりに価値を発展させていくことへの思いや課題意識が培われることを目指して、柳川さんからの生徒たちに向けたメッセージを見せ、一人一人の心に残る言葉にしたい。

4 ねらい

盲目アスリートの柳川春己さんが挫折を経験しながらも立ち直る姿に、自分の経験や思いを重ねて考えることを通して、夢や目標をもち、達成させるために最後までやり抜こうと努力することの大切さに気付かせる。

5 展開(   形成的評価：●達成不十分な子どもへの指導)

	学習活動	主な発問・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 将来の夢や目標について、話し合う。	○30歳になった時、あなたは何をしていますか。何をしていますか。いいなあと思いますか。	・事前アンケートの結果を紹介しながら、発表しやすい雰囲気を作る。
展開	2 柳川春己さんの人生を知り、考え、意見交流する。 ・写真と映像を見る。説明を聞き、考える。  ・ワークシートの1に自分の考えを書く。  ・ワークシートの2に自分の考えを書く。	○悔しくて涙が止まらなかったのはなぜだろう。 ・一生懸命頑張ったのに、目標が達成できなかったから。 ・4年間の努力が無駄になったから。 ・けががなかったら、出場できていたかもしれないから。  ○もし、あなたが柳川さんの立場だったら、この後どうすると思いますか。その理由も書きましょう。 「走ることをやめる」 ・もう無理だと思うから。 ・夢をあきらめると思うから。 「走ることを続ける」 ・しばらく落ち込むが、また走りたくなると思うから。 ・目標に向けて、まだ頑張りたいと思うから。  ◎挫折から立ち直ることができた柳川さんが、心の中にもっていたものは何だろう。 ・絶対叶えたい夢。 ・強い意志。 ・やれるかもしれないという自信。 ・あきらめない気持ち。 ・励ましてくれる人や伴走者への感謝の気持ち。	・柳川さんが走るようになったきっかけや練習方法などを、写真と映像を提示しながら紹介する。 ・ブラインドウォーク体験を思い出させる。 ・部活動や自分が一生懸命取り組んでいることと関連させて考えさせる。 ・4年に1度しかない大きな目標を達成できなかったことの悔しさを強調して、想像させる。 ・人間の弱さに気付かせ、柳川さんに共感できるようにする。  ・「走ることをやめる」「走ることを続ける」と選択式にして、考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分を柳川さんの立場と重ねて判断し、その理由を書いている。 ●部活動など、今一生懸命取り組んでいることを想起するように、声かけをする。</div> ・ワークシートに記入した後、グループで意見交流させる。 ・意見交流の仕方として、全員の考えとその理由を聞いた後、必ず自分と違う考えの友人に質問したり意見を出し合ったりするように指示する。 ・ねらいに近付けるために、聞き返しの発問をする。 例：「どんな夢だったと思う？」 「周りの人が励まそうと思ったのは、柳川さんのどういう姿を見たからだろう？」 ・補助発問「あなたは、挫折した時に心の中に何をもっていたいですか。」と問いかけて、自分との関わりで価値を捉えさせる。
終末	3 柳川さんからのメッセージ(映像資料)を聞く。 4 ワークシートの3に授業の感想を書く。 5 教師の話聞く。	○柳川さんの生き方を知って感じたことや、自分の夢や目標について考えたことを書きましょう。	・メッセージの終わりを問いかけの形にして、自分の夢や目標について思いを書く活動につなげる。 ・発表させて、価値を交流する。  ・柳川さんの言葉をいくつか紹介して余韻を残して終わる。

6 評価の観点

自分が抱く夢や目標をもち続け、達成させるために困難や失敗を恐れず、最後までやり抜こうとする意欲をもつことができたか。(ワークシート)